

ロサンゼルス ABA 見学報告 2017

2017.4.9 神戸定例会

藤坂龍司

2017年2月に一週間の日程で、ABAが盛んな米ロサンゼルスを訪ねてきた。今回で4回目。今回は月～木まで、いつもお世話になっているABAベアーズのホームセラピーを見学。最後の金曜日は現地のつみきの会会員、鳥羽さんのお子さんが通う小学校支援学級を見学させてもらった。

1. ベアーズのセラピー見学

<ABA ベアーズ>

ABA BEARSはロサンゼルス校外のランチョ・クカモンガに拠点を置くABAエージェンシー。リーダーのボブ・チェンさんはUCLAでロバース博士の晩年の弟子となり、卒業後、ロバース研究所でスーパーバイザー(SV)をしていたが、数年前に独立してベアーズを設立した。

ベアーズには上原潤子さんという日本人セラピストがいて、ボブとともにランチョ・クカモンガ地区のSVをしている。元々、上原さんがつみきの会のゲスト会員で、数年前に、つみきの会のセラピストをセラピー見学に招いて下さったことから、ベアーズとのお付き合いが始まった。

私がベアーズのセラピーを見せていただいたのはこれで3回目。セラピー見学をさせてくれるエージェンシーは年々少なくなってきており、ベアーズの存在はますます貴重になっている。



ベアーズのみなさんと

<カリフォルニア州のABAセラピーの現状>

カリフォルニア州は全米でもABAが盛んな州の一つであり、10年以上前からABA早期家庭療育に公費が支給されていた。

しかしABA療育の費用が財政を圧迫するため、2011年に、自閉症幼児へのABAその他の療育サー

ビスに医療保険の給付を義務づける州法が成立した。その後は主に民間医療保険によって、ABA セラピーの費用が賄われている。現在、同様の州法は全米 50 州中 43 州で制定されているとのこと（2015 年 12 月時点）。

カリフォルニア州健康と安全法(Health and Safety Code)修正 1374.73 条（2011 年）

(a1)「医療保険を提供するすべてのヘルスケアプラン契約は、遅くとも 2012 年 7 月 1 日までに、広汎性発達障害ないし自閉症に対する行動療法（behavioral health treatment）をカバーすべきである。」

(c1)「行動療法(behavioral health treatment)」とは応用行動分析およびエビデンスに裏打ちされた行動介入プログラムを含む、専門的なサービスおよび治療プログラムを意味する。」

ただし必ずしも週 30-40 時間の早期集中介入が保険給付されているわけではなく、むしろ多くは週 10-15 時間程度のような。

その中でベアーズは、いまでも週 30-40 時間のロバースタイプの早期集中介入にこだわっている数少ないエージェンシーの一つである。

<ベアーズのセラピー>

ベアーズのセラピーはロバース法に忠実に、家庭訪問（ホーム・ベースド）によって行われている（現在、カリフォルニアでもホームベースからセンターベースに移行しているエージェンシーが増えているようだ）。

ホームセラピーは基本、午前約 3 時間、午後約 3 時間で週 5 日のペースだが、今回、ベアーズがクカモンガで見ている子どもたちのほとんどは午前中、セラピストのシャドー付きでプリスクールに通っており、午前中にホームセラピーをしている子は少ないようだった。

今回、3 人のセラピーを見学したが、一人だけ、まだ午前中、自宅でセラピーをしている子がいた。I くん、4 才である。



セラピーは子どもの自宅。セラピストは車で移動する。

Iくんは去年10月からベアーズのセラピーを受け始め、2月の時点で週32~35時間のセラピーを受けていた。

この日の午前中のセラピーは8:30から11:15まで。米国のセラピストの朝は早いのだ。

Iくんのセラピーは（ベアーズには珍しく）いすに座って、机を挟んで行うことが多かった（去年までの見学ではだいたい床でやっていた）。

ベアーズのセラピーは、一回に6~7試行しては席から立たせ、数分の休憩を取る、というパターンを繰り返す。1シットイング（すわらせてから立たせるまで）の試行数が2~3試行ということも多く、滅多に10試行は超えない（コンプライアンスが悪いときは長く、よいときは短くする）。

休憩は1~2分、という説明だったが、実際に計ってみると4~6分、ということが多かった。その間、子どもが自己刺激にふけるようなら適切な遊び（パズルなど）をするように促すが（そのためにあらかじめ、遊びスキルを教える）、自分で適切な遊びに従事しているようなら、好きに遊ばせる。

Iくんはおもちゃで遊べる子なので、自由にさせてもらっていた。

Iくんのセラピールーム（子ども部屋？）には大きな壁掛けテレビがあり、Iくんは休憩時間、それにアニメを映してもらって（でも音はなし）、でもそれは見ずにおもちゃで遊ぶ、というパターンがお気に入り。そこで休憩時間にIくんがテレビを見たそうにすると、セラピストはテーブルに置いてある「I want」を書いてある紙を指さして、Iくんに「I want TV」と言わせる。Iくんがそれらしいことが言えたら、テレビをつけてあげていた。

この日、Iくんがやっていた主な課題は、

強化子サンプリング

いすに座らせて、セラピストが身体強化を行い、目合わせを促す。

物の名前付け（non-contingent）

セラピストがカードを見せてその物の名前を言い、Iくんにまねさせるだけ。これで覚えることもあるそうだ。

受容的な物の名前付け

Non-contingentで覚えたかどうか確かめるため、ランダムローテーションを行う。

形の受容的命名 6試行

NCで一ヶ月半やったが覚えられないので、受容に切り替えたとのこと。

動物カードの受容的命名

6枚で9試行→休憩6分

色の受容的命名

2試行で休憩4分

音声指示

4試行。休憩5分。

靴下と靴を履く

外活動の準備として。

外活動

裏庭に出て

ボールのバウンド 4試行で休憩4分。

サッカー

ストップ 3 試行 インサイドキック 2 試行 トゥーキック 2 試行 休憩 2 分
 アメフト
 キャッチ 2 試行 休憩 1 分
 ボール投げ 1 試行 休憩 4 分
 野球
 バットの持ち方 2 試行 →休憩

このあと家の中に入るようにセラピストが指示したが、Iくんはまだ外で遊びたかったので、セラピストの手をたたいた。その罰として、それからしばらくは休憩時間にテレビをつけてもらえなかった。

音声模倣

「マミィ」 1 試行でうまく言えたので解放。

音声模倣は始めて 2 週間。先週から 2 音節。「マミィ」は前々回のセッションでは 10 試行で成功。前は 6 試行で正反応。今回は一回で成功したので、すぐに解放した、とのこと。

動作模倣

ピストル 1 回でできたので解放 休憩 2 分半。

腰に手を当てる 2 試行でできたので解放。

ボードゲーム

すごろくのようなもの。途中で Iくんがコマの進め方を間違えたので、2 回連続で修正させると、わあわあ言い出したので、いすに座らせてタイムアウトした。泣き出したが、無視して消去。

そのあとセラピーを再開しようとする、セラピストをたたいたので、またタイムアウト。しばらくいすに座らせてから、音声指示を出して、おとなしく 3, 4 試行正解したので、解放した。

(音声指示をボイコットした場合は、しばらく待ってもう一度指示を出し、根負けさせる。身体プロンプトすると取っ組み合いになるので、それはしない、とのこと)

2. 小学校支援学級での ABA

最終日はロサンジェルスを中心部に移動。ロス在住のつみきの会会員の鳥羽さんという方の小学 3 年になるお子さん M ちゃんの通う、公立小学校支援学級の様子を見学させてもらった。

この小学校には自閉症クラス、知的障害クラス（知的障害、ダウン症など）、学習障害クラス（比較的軽度の子ども。高機能自閉症も含む）の三種類の支援学級があった。M ちゃんは自閉症クラス。

自閉症クラスには 2 人しか生徒がおらず、もう一人はお休みだったため、先生 1 人に M ちゃん 1 人のマンツーマン状態だった。

担任の T 先生は初老の大柄な男性で、Mr. T と呼ばれていた。T 先生は大学院で行動分析を学んだとのことで、授業も ABA の原理と技法を用いていた。T 先生に「TEACCH はやらないんですか」と聞くと、「なんだ、それは。聞いたことがない。この辺りの学校はみんな行動分析だよ」とのこと。ただ視覚スケジュールは用いていた。

M ちゃんはことばが話せないが、受容的命名はできる。お母さんの話によると、1 年半前は物の名前もわからなかったが、UCLA のプログラムに参加したら、そこで iPad を使っていて、それで物の絵を押したら単語が聞こえる、と言うことを繰り返すうちに、物の名前を覚えたのだそうだ。T 先生の

授業にも iPad を取り入れてもらっている。

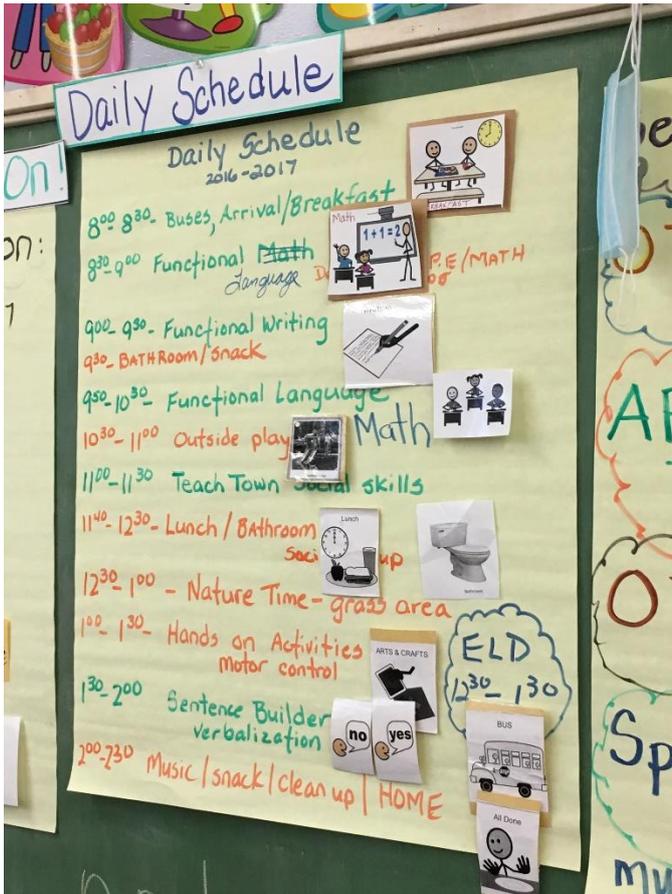
いまはアルファベットも読めるようになり、単語カードの弁別もできる。またアルファベットを書くことにも挑戦していた。



ミスターTとMちゃん。単語カードの受容的弁別をしている

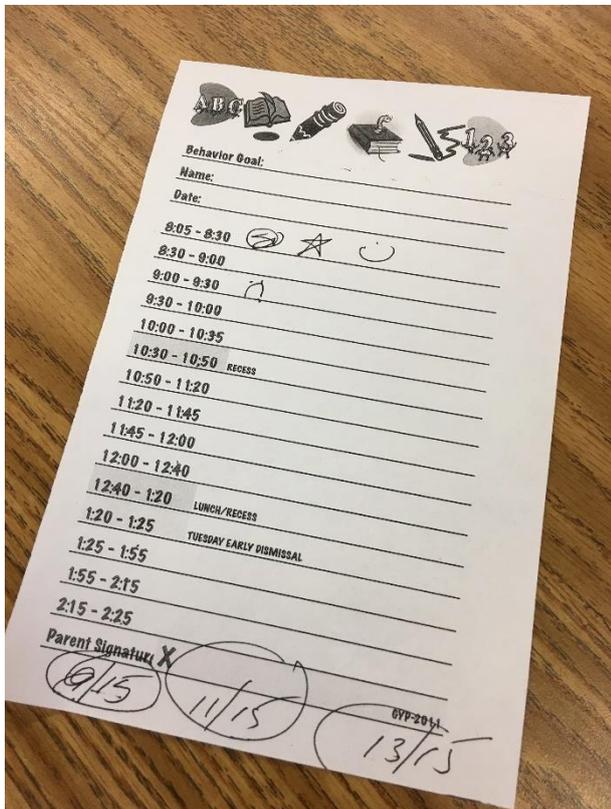


私がミスターTの話を必死で聞き取ろうとしているところ



一日のスケジュール	
8:00-8:30	バス到着。朝食
8:30-9:00	ことば（単語の読み？）
9:00-9:30	文字の書き
9:30-	トイレ・おやつ
9:50-10:30	ことば。算数
10:30-11:00	外遊び
11:00-11:30	公共マナー・ソーシャルスキル
11:40-12:30	昼食・トイレ
12:30-1:00	ネイチャータイム（外活動）
1:00-1:30	図画工作
1:30-2:00	話し言葉。応答
2:00-2:30	音楽・おやつ・片付け・下校

一日のスケジュール表。絵カードで視覚化している。



行動目標チェック表。時間ごとに、Mちゃんがその行動ができていたら○。最初は○が15中6あればごほうび。徐々に11, 13と基準を上げていくとのこと。